

TOKYO
SINCE 2006
MUSIK
KREIS

× J.S. BACH

ヨハネ

Johannes-Passion

受難曲

BWV245 (第4稿/1749年)

J. S. バッハ [1685-1750]

[福音史家] 藤井 雄介 [指揮] 渡辺 祐介 [ピラト・バス] 加藤 宏隆
[ソプラノ] 松井 亜希 [イエス] 三浦 英治 [テノール] 谷口 洋介
[アルト] 上杉 清仁

東京ムジーククライス
第7回定期演奏会

ミューザ川崎シンフォニーホール

2013/ **9/28** 土

Sat. 28 September 2013
18:00開場 18:30開演

全席自由/2,000円

チケットぴあ

☎ 0570-02-9999

(自動応答システム、Pコード: 195-389)

<http://t.pia.jp/> (PC・携帯共通)

チケットぴあ、セブンイレブン、サークルKサンクス各店舗

イープラス

<http://eplus.jp> (PC・携帯共通)

ファミリーマート店頭端末「Famiポート」でも。

<http://www.family.co.jp/famiport/eplus/>

ミューザ川崎シンフォニーホール

☎ 044-520-0200 (10:00-18:00、オペレーター対応)

【主催・お問い合わせ】

▼東京ムジーククライス
tmk200610@gmail.com

▼公式サイト

<http://musikkreis.net/>

TOKYO SINCE 2006 MUSIK KREIS



東京ムジーククライスは、バロックや古典・ロマン派の宗教曲の演奏を目的に、2006年10月、若手社会人や学生によって設立された合唱団、演奏団体です。常任指揮者には、バッハ・コレギウム・ジャパン等で広く活躍中の渡辺祐介氏を迎え、また、国内外で活躍する気鋭の音楽家を数多く指導者・演奏者として招聘し、併設のプロオーケストラと共に演奏活動を行っています。本公演では、J.S.バッハの《ヨハネ受難曲》BWV245 第4稿(1749年版)を演奏致します。バッハがその生涯において何度も改訂し、再演してきた名曲をどうぞお楽しみください。



渡辺 祐介 [指揮] yusuke watanabe conductor

東京藝術大学卒業、同大学院修了。多田羅迪夫、黒田博の両氏に師事。在学中より藝大バッハカンタータクラブに所属し数多くのソロを務め、2005年3月から3年間は後進の指導にあたる。2002年からバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとなり、多数のコンサート、録音に参加。2008年から2010年までデン・ハーグ王立音楽院に留学、ペーター・コイ、マイケル・チャンス、ジル・フェルドマン、リタ・ダムス諸氏の下で研鑽を積む。最近では三枝成彰氏のオペラ《KAMIKAZE》の初演に特攻隊役で出演、また金昌国指揮のアンサンブル of トウキョウにソリストとして招かれている。東京ムジーククライス常任指揮者及びマヨラ・カナムス東京音楽監督。



藤井 雄介 [福音史家] yusuke fujii evangelist

大分県大分市出身。声楽を外川香奈子、オルガ・ワルラ=コロ、奥田誠、枝川一也、鈴木寛一、寺谷千枝子、ブライアン・パーソンの各氏に師事。これまでに、バッハ《ヨハネ受難曲》の福音史家、ヘンデル《メサイア》、ハイドン《天地創造》、モーツァルト《レクイエム》、シューマン《薔薇の巡礼》など、主に宗教的声楽作品のソリストを多数務める。日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル・金沢等と共演。バッハ・コレギウム・ジャパン(鈴木雅明氏音楽監督)ではソリスト、声楽メンバーとして多数公演・録音に参加している。広島大学教育学部音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程および博士後期課程修了。



三浦 英治 [イエス] eiji miura jesus

声楽を洗足学園音楽大学にて築地文夫、ケルン音楽大学(ドイツ)にてヴォルフガング・トロイトラー、デン・ハーグ王立音楽院(オランダ)にてペーター・コイに師事。その後スコラ・カントーラム パジリエンシス(スイス)より奨学金を受けアンソニー・ルーリー、エヴェリン・タブに師事、その他マックス・ファン・エグモント、アンドレアス・ショルに師事。主にルネッサンス、バロック時代、18世紀の作品に多数のレパートリーを持つ。現在まで、Il Canto di Orfeo(イタリア)、Arsys Bourgogne(フランス)、Collegium Vocale Gent(ベルギー)に所属し、数多くのコンサート・CD録音に出演。三浦音楽事務所代表。



加藤 宏隆 [ピラト/バス] hirotaka kato pilatus/bass

静岡県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。第5回浜松市民オペラ「魔笛」でオペラデビュー後アメリカに留学。ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院修士課程及び、インディアナ大学ジェイコブス音楽院パフォーマンスディプロマ課程修了。イタリア・フィレンツェへの短期留学も経験。アメリカ国内において、多くのオペラやコンサートにソリストとして出演。2011年には「バナーード・ランズ作曲による、画家ゴッホの生涯を描いたオペラ「ヴァンセント」の世界初演、ゴージャン役に抜擢される。米国アスペン音楽祭参加。現在は拠点を日本に移し、幅広い活動を展開している。二期会会員。



松井 亜希 [ソプラノ] aki matsui soprano

岩手県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程・博士課程修了。博士号取得。アカンサス音楽賞、同声会賞、三菱財団賞を受賞。日仏声楽コンクール優勝、友愛ドイツリートコンクール優勝、日本音楽コンクール入選。大学院在学中に行われた日本演奏連盟主催のデビューリサイタル・シリーズではフランス近現代歌曲を演奏し、「清純な詩情に溢れる透明感ある歌唱」と評される。オラトリオのソリストとして、「メサイア」、「ヨハネ受難曲」、「第九」等様々な作品に出演。また現代音楽も得意とし、東京シンフォニエッタの演奏会でフランスの作曲家アタールの作品「Ancho〜暗潮〜」を日本初演するほか、アンサンブル・ジュネシスのメンバーとしてNHK「クラシック倶楽部」に出演し全国放映された。



上杉 清仁 [アルト] sumihito uesugi alto

高知大学人文学部卒業。同大学院教育学研究科音楽教育専修修了。東京藝術大学大学院博士後期課程を修了し博士号(音楽)を取得。スイス・バーゼル音楽大学・スコラ・カントーラムに留学し、ゲルト・テュルク、アンドレアス・ショル両氏のもとで研鑽を積む。2000年古楽コンクール(山梨)において最高位受賞。併せて、『蔵の街』音楽祭賞を受賞。ヨーロッパ各地で演奏会、フェスティバルに数多く参加している。バッハ・コレギウム・ジャパン、声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」、ロコス・アポカルプシス、Seven Tears Consort 各メンバー。東京ムジーククライス副指揮者、北九州聖楽研究会ヴォイストレーナー。桜美林大学芸術文化学群音楽専修非常勤講師。ミュージアム音楽院講師。日本声楽発声学会会員。



谷口 洋介 [テノール] yosuke taniguchi tenor

神奈川県横浜市出身。国立音楽大学声楽科卒業。声楽を宮崎義昭、中村健、大石正治、ヒサコ・タナカの諸氏に、古楽歌唱法をジョン・エルウィス、ゲルト・テュルクの諸氏に師事。1998年以来、鈴木雅明主宰のバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)のメンバーとして国内外の数多くの演奏会やCD録音に参加し、現在もソリスト・合唱主要メンバーとして活躍中。1999年、BCJ演奏によるモンテヴェルディ作曲「聖母マリアの夕べの祈り」でソリスト&CDデビュー。2002年、鈴木美登里を中心として声楽アンサンブルグループ「ラ・フォンテヴェルデ」を結成し、16世紀〜17世紀のイタリアで流行したマドリガーレの演奏と普及に努めている。その他、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊の声楽指導員を務めている。

東京ムジーククライス [合唱/管弦楽]

tokyo musik kreis chorus/orchestra

ミュージア川崎シンフォニーホール

<http://www.kawasaki-sym-hall.jp>

JR川崎駅 下車徒歩3分(西口から直結)

京急川崎駅 下車徒歩8分

☎212・8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ☎044-520-0100(代表)



▼恐れながら、未就学のお子様同伴、入場はご遠慮いたしております。▼場内での写真撮影・録音・携帯電話の使用、並びに他のお客様のご迷惑となる行為は、固くお断り致します。▼花束の場内への持ち込みは、演奏の妨げとなる場合がございますので、受付にてお預かりを致しております。▼開演後は途中入場が出来ない場合がございますので、予めご承知おきの上、お早めにご来場下さい。▼入場には、おひとり様1枚のチケットが必要です。また、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。▼車椅子などお手伝いが必要なお客様は、お座席やご案内の用意がございますので、下記までお知らせください。

【お問い合わせ】
☎090-4957-9345(東京ムジーククライス)